

岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会
岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会（令和7年度第2回）

日 時：令和8年2月18日（水）13:00～16:00
場 所：総社高等学校 図書館 9名（欠席1名）

1 開会

2 報告・協議

（1） 令和8年度の合同研修会について

●変更点

- ・ 合同研修会を年2回とし、支部研修会を増やしている。
- ・ 初任研は4月の1回のみとし、そのあとは支部研修会やサポート校制度にてサポートする。

●全2回の時間割（イメージ）

【協議】交流会の持ち方について

・ 第3回合同研修会のアンケート結果より報告

サポート交流／情報交換会の形にはこだわらない、交流時間の確保が大事。

ただし、4月についてはサポート校の顔合わせの必要から、サポート班で集まることが望ましい。

実施時間は研修会の前後、昼食を兼ねてのいずれでも、研修時間内に含まれている方が望ましい。

（時間外の場合、出張に出にくいとの声があった）

一方で、任意の取り組みであるのに研修の時間内に実施することに、反対の意見もある。

→ ネット研の活動内容として明記されており、総会で承認を得ている。（任意の取り組みではない）

→ 研修の時間内として実施はするが、研修の前や終わりに来るように、あるいは、自由参加の昼食会という形式を取り、不参加者についても配慮をすることに決定。

→ R8年度合同研修会は、第1回はサポート班による顔合わせ（研修会后）、第2回は情報交換会を兼ねた昼食会を実施する（研修会前）ことに決定。

●第1回合同研修会全体について（4/24）

- ・ 派遣依頼文書に「初任者研修担当者・参加者は10:00～（受付9:30～）」と明記する。
- ・ R8年合同研修会を実施後にアンケートを取り、R9年度合同研修会について検討する。←周知する。
→ 今後も合同研修会終了後にアンケートを取りながら、進める。合同研修会の回数（合同研修の回数）についても、アンケートの結果を見ながら、計画をしていく。
- ・ 合同研修（研修B）はなし。
- ・ バックヤードツアーを会の最後に回し、初任研の時間を10:00～12:30とする。
（令和7年度と同様の研修時間を確保する）
- ・ 県立図書館としては、7月の合同研修がなくなるので、研修を受け持つ時間が多いとありがたい。
- ・ LibMax・LibFinderの説明はどうか？
→ 毎年度しなくてもよい、2年に1度くらいの開催でよいのではとの話が過去に出ていた。
→ 県立図書館が会場のため、操作しながら説明ができないのがネックである。
しかし、説明会をするのであれば、操作に困る人が多い4月にする方がよい。

→今年度のバージョンアップではそこまで大きな仕様変更は見当たらないこと、
今年度、司書部会の HP に動画を載せたので、そこで操作の確認ができること、
以上の点から、R8 年度第 1 回合同研修会では、説明の時間は取らないことに決定。

・サポート校顔合わせ

→バックヤードツアーの時間確保、遠方から来ている人のため、16:30 までには会が終わるように
タイムスケジュールを考えたい。

→バックヤードツアーは普段は 30 分だが、短縮も可能。

→サポート交流不参加者もいるため、会の終わりは 16:00 を過ぎるようにタイムスケジュールを考
えたい。

→サポート交流の時間を 15 分に短縮し、連絡先の交換の時間だけを確保する。また、サポート交流
が終わった班から適宜解散するように声掛けをすることに決定。

(サポート交流は 16:00~16:15、バックヤードツアーを 5 分後の 16:20~16:40 に設定)

※会のあと調整。終了時刻は、サポート校不参加者は 16:00、サポート校参加者は 16:15、館内見
学 (R8 年度は 20 分間)は 16:40 となった。

【協議】サポート校不参加者について

※上記「【協議】交流会の持ち方について」を参照のこと。

●研修 A/B

・初任者は、第 2 回・第 3 回では研修 B も受講可能 (見学のみも可)。

←見学については 4 月に周知しておく？

→研修企画班としては、初任者や自校の取り組みを紹介できなくても参加できる内容を企画するよ
うに努めている。

→見学というと授業参観の保護者のイメージ。何も発言せずただ周りで見ているだけで研修に参
加したと言えるのか。

→「見学のみも可」は削除することに決定。自校の実践事例を出せなくても、参加していけるよう、
今後みんなが参加できる内容を企画していく。

→会のあと調整。

上記を「初任者は、第 2 回 (支部研修会)・第 3 回 (合同研修会) では研修 B (合同研修) を受講す
る。」に訂正。

・研修の一部を県立図書館に依頼する場合、内容は県立図書館と研修企画班とで協議して決定する。

●その他

・12 月の合同研修会は学校を会場とする予定だが、県立図書館で実施する場合は、5 月中に予約をし
ておく方が望ましいため、5 月末には県立図書館に相談をする。

(2) 研修について (研修企画班)

●R7 年度 第 2 回合同研修 (研修 B) 報告

・初任者も経年者も取り組みやすいテーマ設定ができ、良かったと思う。

- ・司書同士で情報交換をする時間に好意的な感想が多かった。今後も活動の持ち寄りは続けていけたら良い。
- ・一方で、「課題を解決するための企画を考える研修」という部分に触れられている感想はなかった。目的を理解してもらう工夫が必要。

●R8年度の研修について

- ・初任者研修：第1回合同研修会（AM）で実施。今年度と同じような日程で開催。
- ・合同研修（研修B）：「授業／探究」をテーマにした研修（案）
7月ごろの各支部2回目の研修で、各校の実践事例を持ち寄る。
12月ごろの第2回合同研修会で、講師を招いた研修。
- ・研修内容の詳細の決定は次年度の担当者が行う。
- ・R7年度アンケート「図書館業務を行う中で課題や困っていること」「今後、合同研修で学びたいテーマ」のまとめを来年度の担当者に渡す。

●懸念事項

- ・各支部2回目の研修は「準備は研修B（研修企画班）、実施は各支部」の形になる。
各支部に研修Bが配置されるよう、担当を決定しなければ運営は難しいのではないか。
→美作支部は、来年度の研修企画班の連絡係に県立正規司書を配置した。
→備中支部は研修企画班に1名を配置できるようにしたい。支部研修の担当班が補助として入れれば、実施は可能ではないか。

●「研修企画班引継ぎ事項」の共有

- ・今まではなんとなくで引き継いできた事柄も多くあるので、「研修企画班引継ぎ事項」として今までの経緯をまとめた。今後もその都度話し合い、ネット研を経て決定したことを追加していく。

(3) でーれーBOOKSについて（読書推進班）

●でーれーBOOKS2026について（報告）

- ・2次投票が18名。投票者が増えるよう、何らかの方策が必要。
- ・ポスター・フライヤーの作成について
→今年度は岡山商大附属高校が担当した。
今年度からあらかじめデザインを作成してもらっておき、読書推進班で書影とコメントを流し込んで完成させる予定だったが、ソフトの関係で結局デザイン担当校にお願いすることになった。
- ・高教研学校図書館部会名で後援申請
→県教委、県立図書館、県読書推進運動協議会に実施報告書を提出予定。
→申請や実施報告書には事務局と担当者の手間がかかる。
役員が交代した場合は、役員リスト等も作成が必要になる。
→また、実施報告書にはポスターも送るため、郵送費が必要になる。
→すでに3年前から実施しているので、そこまで手間というわけではない。
郵送費もそこまで圧迫をしているわけではない。
→後援があると賞に重みが増すので、今後も後援申請を継続することに決定。

●「全国の推し本」「図書館教育ニュース」について（報告）

- ・国立国会図書館のカレントアウェアネスにでーれーBOOKSを含む全国の「推し本」が紹介された。
- ・「全国の推し本 MAP」にでーれーBOOKSも掲載され、図書館総合展で配布された。
→オフィスみちねさんからMAPをいただいたので、各支部に配布する。
- ・図書館教育ニュース原稿執筆
→「図書館教育ニュース」2026年4月18日号（4月中旬発行）に「でーれーBOOKS」掲載予定。
→原稿料（8,320円）は辞退することとする。

●でーれーBOOKS2027実施について（案）

- ・実施計画案
- ・教員の投票も可能とすることを役員会、総会でも知らせる。
- ・ポスター・フライヤーの作成について
→担当者の技術、担当者の勤務校で使用できるソフト、デザイン校の使うソフトなど、毎年度状況が変わる。
→読書推進班の担当者が決まったら、各校の状況等で仕様書の条件を変更する。
その条件で受けてくれるデザイン校に依頼をし、詳細な条件やスケジュールは両者による話し合いで決定する。
- ・アンケートの意見より
→ポスターが大きくなったこともあり、ノミネート作5冊だとさみしい感じがするという意見があった。
→他のエントリー本の書影を取ることは可能だが、出版社によってはポスターを送ってほしいと言われることもあり、郵送費がかかる。
→題名・著者名・出版社名だけをリストとして掲載するのはどうか。
→来年度の検討事項とする。

（4）学校図書館システムについて（システム担当班）

●県立図書館システムの更新

- ・関連した話し合い等はなかった。
- 高校図書館からの要望は、県立図書館に伝わっている。

（5）3支部司書部会全体に関わる事柄について

●サポート校

- ・アンケート結果
→R8年度第1回合同研修会で配布する。
- ・組み合わせ（案）
→サポートを受ける学校からサポート担当校に4校が回ってくるとの回答があった。（その後5校に）
→サポート担当校で、アンケートに回答がなかった学校には、来年度も継続できるか、支部幹事から確認を入れる。
→今年度の組み合わせ表で抜け落ちている学校については、意向を確認する。
→R8年度の組み合わせについては、異動がわかり次第、支部幹事で確認、暫定版を作成する。
- ・【協議】GoogleChatについて

→アンケートによるとサポートを受ける学校の9割弱が継続を希望している。

サポート担当校側も、GoogleChat を開設した班は100%好意的な回答があった。

→R8年度もGoogleChatによるサポートを行うことに決定。

→今年度第1回合同研修会で連絡した通り、Chat ルームは年度末に閉鎖し、R8年度新たに開設する。

閉鎖については、3月末にMLとGoogleChatで連絡をする。

→GoogleChatを取り入れない班があってもよい、また班の中で入らないという人がいてもよいということ、今後も周知していく。

●基本情報アンケート

・R8年度の配布方法→紙

・項目について

→新聞記事データベースを書くときに、Sandex（山陽新聞社の新聞記事DB。県立学校にはすべて導入されている）を入れるか迷う。

→Sandexをどの県立学校も使えるということをみんなが知っているのだろうか。基本情報アンケートに項目があることで、話題になればよいのかもしれない。

→基本情報アンケートについている「アンケートの変更点・補足」欄に、新聞記事データベース記入の変更点があるが、アンケート欄と合致していないことが判明した。

→新聞記事データベースの種類は限られているので、チェックを入れる方式でもよいかもしれない。

→そうするとスペースが足りないのでは、どこか減らせる項目はないだろうか。

→マークはそう変更するものではないので、項目を削除またはスペースを節約できないだろうか。

→会の後、基本情報アンケートを確認し、マークのスペースを減らせることを確認。新聞記事データベースをチェック方式に変更した。

●役割分担

・図書委員会交流会担当をつくってはどうか。

→任意でやりたい学校が集まって行う方が適している。

→R8年度の主催には山陽学園が名乗りを挙げている。交流会後にティーンズコーナーに展示をしたいので、県立図書館も一緒に企画をできるか。→可能であろう。

→学校の企画とは別に県立図書館が主催で企画をしたい場合は、年2回の開催も可能である。

・県立図書館の学校セットを県立図書館と一緒に検討する担当をつくれぬか。

→県立図書館が必要に応じて募集し、参加できる人が集まる形がよいのではないか。

→その場合、1人の役割が複数になることに負担を感じるのではないかという考えで、上記提案。

→役割分担の班が今以上に増える方が、負担に感じるという意見があった。

(6) 学校図書館活用教育研究会より

●報告（12月に第2回目を実施）

・HP（ワークシート）の編集作業について

→今年度、清教学園のワークシートを分けて表示し、整理を行った。

→一旦終了。（足りない分類のシートについては来年度の課題）

→活用研ではHPを学校で周知して使ってほしいとのことだが、探究活動も様々なワークシートができてきており、学校の担当者の方でもすでに持っている場合が多いという話があった。

→HP内の動画について、作成時から時がたち、古くなっている文言や名称を更新していく予定である。

- ・2025年度のレファレンス事例を募集中→3月にはHPにアップする予定である。
- ・高校生「夢育」PBLフォーラム2025（2025/12/25開催）ではチラシを配布した。
- ・メンバー募集について、募集締め切りを昨年度より1週間延ばして4月17日までとする。

（7） 県立図書館より

●学校セット

県立図書館の現在の体制では、資料選定、組み換えやセットの更新をじっくり検討することが難しい。
また、学校の学習に適した選書を行うことにも限界がある。

資料費減により学校セットの資料費も減るため、精選して有効な資料活用を行いたい。

→学校図書館から担当者を決めて、一緒に検討をお願いできないか。

※上記（5）3支部司書部会全体に関わる事柄について●役割分担を参照

→毎年度テーマを変え、そのテーマを司書部会研修のおすすめ本で投稿してもらうという案が出た。

→思い立った時に随時意見が送れるように、システム上に投稿フォームを設置してはどうかという案が出た。

●県立図書館システム更新（2月下旬予定）

- ・学校セットの検索が可能になる。貸出中かどうかもわかるようになる。
- たとえば、内容細目に書名を入れたら、セットに含まれる書名でも検索が可能になる。
- 時間はかかるが、なんらかの方法で今後進めていけたらと考えている。
- ・県立図書館の貸出は発送日から30日に変更される。
- ・新システムの説明会はなし、マニュアルは作成を予定している。
- ・学校図書館横断システムの機能は更新後にも存在するが、調整中。
- 県立高校の横断検索との差別化と活用方法については今後学校とも相談の上で検討したい。

●県立図書館と学校図書館の懇談会

- ・3/5（木）に第1回を実施する。
 - 学校からは、教員6名、司書6名がメンバーとなっている。
 - 1回で終了という形にはせず、定期開催（年2回程度）を考えている。
 - 懇談会は意思決定の場ではないので、それぞれの提案や要望をどのように企画や事業の形にして実施していくかについては、今後検討していく必要がある。
 - ・県立図書館への記述式アンケートについては、今年度も実施予定。
- （昨年度は、2025.3.17に「学校図書館支援事業に関するアンケート」を実施）

（8） 高教研学校図書館部会

●HP関係支払いについて

HPサーバー更新代を今までは4/1の更新に合わせて支払っていた。（予算がまだ決まっていない状態）
来年度分を前年度末に支払いができるように要望し、変更になった。

また、事務局で請求書をダウンロードし振り込みができることがわかり、支払いにかかる業務が整理できた。

- 来年度事務局校は玉島高校

(9) その他

- 名称変更を R8 年度役員会・総会で提案、承認を得る。

「岡山県高等学校教育研究会 学校図書館部会 学校図書館ネットワーク研究委員会」

- 県教育政策課・高校教育課への要望書提出に関わること

今年度初めて、県立高校単独での要望書を提出した。(SLA 会長/SLA 司書部会長/ネット研委員長)

小中高全体の要望書については、SLA 会長と SLA 司書部会長が提出してきた。(約 10 年前から継続)

今後も継続する場合、要望書の取りまとめ・持参については、ネット研が候補として挙がる可能性があることを知っておいてほしい。

- 全国高校ビブリオバトル岡山県大会(ビブリオバトル実行委員会より情報提供)

・出張について

→司書から業務として参加できないかという意見があった。

→そのためには、学校図書館部会の行事として位置づける必要がある。

・現在は実行委員会主催、県立図書館が共催であるが、実行委員会としては、次年度以降、県立図書館にも主催に加わってもらいたいという意見でまとめ、今後働きかけを行う予定。

・会場費を助成金で賄っているが、中学生の部も始まり、1日県立図書館を借りなければならない。

→県によっては大学等を会場にしている例もあるが、県全体の読書推進に関わる行事なので、今後も県立図書館で実施できればと考えている。

3 事務連絡

- R7 総会后に、合同研修会案内の文書発信者が「岡山県高等学校教育研究会学校図書館部会〇〇支部長」に統一された。

4 閉会